**７日で理解するコンピュータ自作実習**

２日目　―マザーボードへのCPU、メモリ、電源の取り付け―

**○マザーボードに関して押さえておきたい５つのこと**

１　マザーボードとは（　パソコンの中心となる基盤　）のことであり、パソコンの最大性能や

（　拡張性　）、（　将来性　）に影響がある。　→　サイズ：（　ATX　microATX　）規格など

２　CPUスロット：Intelでは（　LGA1150　）、AMDでは（　Socket FM2　）など。

３　メモリスロット：どのメモリの種類に対応しているか、（　デュアルチャンネル　）の有無。

４　グラフィックカード用スロット：（　AGP　）から（　PCI Express x16 (PCIe)　）へ移行。

　　またマザーボード購入時には（　オンボード　）かどうかも確認する。

５　拡張カード用スロット：（　PCI　）　←多ければ多い方が拡張性が高い。

**＜実習に使うマザーボードについて調べてみよう＞**

（　CPUソケット　）

CPU を取り付ける場所、いくつか形状があるためそれに合っている CPU しか取り付けられない

（メモリスロット）

メモリを取り付ける場所。その形状に対応したメモリでないと取り付けることができない



（　ATXﾒｲﾝｺﾈｸﾀ　）

マザーボード電源用20pin+4pinコネクタ（12V）

（ノースブリッジ）

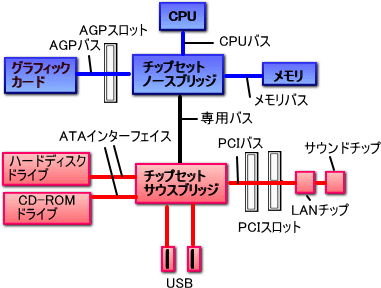
CPU や メモリ、グラフィック機能などを統括する部分

（　IDEスロット　）

HDDや光学ドライブ などを取り付ける場所

（ATX12Vコネクタ）

CPU電源用4pinコネくタ（12V）。CPUに電力を供給する



（サウスブリッジ）

PCI スロット や キーボード＆マウス、その他の接続機器を統括する部分

（　PCIスロット　）

様々な拡張カードを取り付けるためのスロット。通常２～６個程度ついている